

2016年大学野球・年間スケジュール

★春季リーグ戦

日程：4月上旬から6月上旬

※詳細は、各リーグのホームページ・SNSや所属する大学野球部のホームページ・SNSなどでご確認ください。

★第65回全日本大学野球選手権記念大会

日程：6月6日(月)から7日間

球場：明治神宮野球場、東京ドーム(6~8日のみ)

★大学日本代表選考合宿

日程：6月17日(金)から19日(日)

球場：バッティングパレス相石スタジアムひらつか

★大学日本代表直前合宿

日程：7月6日(水)から11日(月)

球場：バッティングパレス相石スタジアムひらつか、ハードオフエコスタジアム新潟

★第40回日米大学野球選手権大会

第1戦：7月12日(火) 18時

ハードオフエコスタジアム新潟

第2戦：7月13日(水) 18時

ハードオフエコスタジアム新潟

第3戦：7月15日(金) 18時

明治神宮野球場

第4戦：7月16日(土) 19時

草薙球場(静岡)

第5戦：7月17日(日) 18時

草薙球場(静岡)

※予備日=7月18日(月・祝)

★秋季リーグ戦・明治神宮大会出場決定戦

日程：8月下旬から11月上旬

※詳細は、各リーグのホームページ・SNSや所属する大学野球部のホームページ・SNSなどでご確認ください。

★第47回明治神宮野球大会

日程：11月11日から6日間

球場：明治神宮野球場



成ドラフト4位で指名されるなど、隠れた好投手の多い愛知大学2部リーグ。そんな「秘境リーグ」には、今年も近藤凌太(愛知工業大)という大型右腕に加え、左腕の中尾輝(杜若高→名古屋経済大)、夏目旭(浜北西高→至学館大)と小林弘都(市沼津高→愛知東邦大)がいる。近藤以外の3投手がドラフト指名されると創部初となる。

大学で開花した本格派右腕

野球熱の高い神奈川、静岡、広島、沖縄で、高校時代は埋もれていたものの、大学に入学し、その能力を開花させ、今年のドラフト

候補右腕に挙がる投手もいる。

まずは49地区で出場校が最も多い神奈川。横浜高や東海大相模高、桐蔭学園高、桐光学園高など群雄割拠だが、甲子園出場のない橘学苑高と三浦学苑高に2人の好投手がいた。注目を浴びていたが、大学でさらに力をつけ、ドラフト戦線に再浮上してきた。

橘学苑高に在籍していたのは、現在最速152キロを計測するストリートとキレ味鋭いスライダーが武器の黒木優太(立正大)。高校2年秋に遊撃手から投手に転向したが、翌年には146キロを記録するなどプロ注目の存在となっ

た。最後の夏は3回戦で東海大相模高に敗れたものの、プロ志望届を提出した。

残念ながらドラフト指名漏れとなり、進学した立正大では、1年秋から登板機会を掴み、通算12勝を挙げている。一方で12敗を喫しており、今年は調子の波を減らし「勝てる投手」へ変貌を遂げたい。

三浦学苑高に在籍していたのは、現在最速148キロを計測し、前述の田中や池田と強力投手陣を形成する秋元秀明(創価大)。高校時代は、1年夏から4番・遊撃手としてレギュラーを掴むと、投手としても登板。最高成績は2年秋

の県4回戦にとどまったが、3年夏の1回戦で13奪三振1四球の内容でノーヒットノーランを達成するなど、プロ球団からも注目されたが、プロ志望届を提出せず、創価大へ進学した。

すると、これまでも小川泰弘(ヤクルト)ら数多くの好投手を育ててきた佐藤康弘コーチのもとで、球速がすぐに5キロ増す。1年春に開幕投手の座を掴み、全日本大学野球選手権でも登板を果たした。その後も2年秋までに10勝を積み重ねるも、昨春、右ヒジを痛め、1年間未勝利に終わった。だが、185センチの長身から